



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2007.07.11

No. 30 - 39

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5 - 11 - 4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

日乗連

日本学術会議、東京工業大学 にて講演

2007年6月27日、東京工業大学工学部にて「航空事故調査の立場から見る社会と安全」、続く7月5日には日本学術会議「安全工学シンポジウム」にて日乗連、館野 AA（事故解析）委員長が講演を行いました。



東京工業大学における講義



日本学術会議シンポジウム（休憩時間）

今年度の東京工業大学での講義には164名の学生が受講しました。この講義は大学の正式科目として扱われ受講した学生には単位が与えられます。学生からは日本の事故調査制度や責任追及のあり方について数多くの意見が上がりました。

日本のトップクラスの学者・研究者が会する日本学術会議 主催「安全工学シンポジウム」に今回初めて日乗連がパネラーとして招かれました。「事故防止、被害軽減のために今取り組むべきこと、望まれる事 各界の役割と進むべき道は」と題した今回のシンポジウムにて日乗連からは「航空における安全性の向上施策」と題し「航空の黎明期から現在までの安全性の向上」「Proactiveな安全施策」「安全情報提供」等について講演を行いました。今回の講演内容は日本学術会議により534ページにも及ぶ講演稿集として編纂されています。

安全工学シンポジウム 2007 目次

第1日:7月5日(木)

挨拶

(第1室 1階講堂)

12:50~13:00

日本学術会議 総合工学委員会

委員長 後藤俊夫(代理 松岡猛)

安全工学シンポジウム 2007 実行委員会

委員長 室崎益輝

第1日:7月5日(木)

特別講演

(第1室 1階講堂)

13:00~14:00

「自殺の現状とその対策」 1

国立精神・神経センター総長 樋口輝彦

司会:鈴木喜久(東京工芸大学)

第2日:7月6日(金)

特別講演

(第1室 1階講堂)

13:00~14:00

長周期地震動下における建築物の応答予測に関する基本事項 5

日本大学教授 秋山宏

司会:室崎益輝(消防庁消防研究センター)

第1日:7月5日(木)

パネルディスカッション

(第1室 1階講堂)

PD1 事故防止、被害軽減のために今取り組むべきこと、望まれることー各界の役割と進むべき道は?ー

14:20~17:00

コーディネータ・司会:松本陽(交通安全環境研究所)

[パネラー]

- | | |
|---|--|
| 1 | 交通事故ゼロを目指してーヒューマンエラー対策を考えるー 11 |
| | 井口雅一(東京大学) |
| 2 | 「21世紀の安全に再構築をー事故を読み解く3つのキーワードへ」 13 |
| | 吉村秀實(ジャーナリスト) |
| 3 | 日本学術会議「事故調査体制の在り方」小委員会活動について 17 |
| | 松岡猛(宇都宮大学) |
| 4 | 日本機械学会における高安全度交通システム実現に向けての活動 19 |
| | 松本陽(交通安全環境研究所) |
| 5 | 交通事故死傷者ゼロに向けた自動車技術会の取り組みー Foresight Zero Programme の紹介ー 21 |
| | 近森順(自動車技術会) |
| 6 | 事故防止のための法的なシステムと最近の法戦略 23 |
| | 佐藤健宗(弁護士) |
| 7 | 航空における安全性の向上施策 25 |
| | 舘野洋彰(日本乗員組合連絡会議) |
| 8 | 企業コンプライアンスと製品安全対策ー家電製品の例ー 29 |